

組子ベッド百報

2012.9-10月号 (No. 18)

著作権は、(株)総桐筆筒和光が所有します
代表取締役 加島清治
〒830-0424 福岡県三潁郡大木町三八松 1048
TEL/0944-33-1421 FAX/0120-279-050
<http://kumikobed.com/>

このニュースレターは「組子ベッド・販売様向け」に編集したものです。組子ベッド、桐たんす、新製品、販売ハウツー、展示会案内、販売店様相互の話題、その等、売上増進繋がる生きた情報を提供していきます。年6回(奇数月)に発行。保管をお願い致します。

この「組子ベッド百報」は、販売店様のみ編集したもので、保管していただくようお願い致します。

■楽しんでもらった、桐米びつ製作講座



初めてのことであり、時間配分に心配してましたが、挨拶→プレゼン→米びつ製作→工場・ショールーム見学→アンケート記入と、皆様のご協力によりピッタリ2時間で終了できました。

工場萌えとか流行っている昨今、うちでも何かできないものか。それも大人の工作として、桐の良さを知ってもらい、木工の楽しさを体験できるもの。いろいろな案を練った中で、桐で米びつが作られていることが多いことが分かり、簡略化したものを用意させていただきました。

簡略化したものでも、なんども試作を繰り返したもので、資料、道具、作業台、進行というところと準備するものが多く、下準備はたいへんでした。

桐の良さ、なぜ桐で米びつかのプレゼンが済み、本番の工作にかかると、最初の頃は、椅子に腰掛けたままだったのが、最後の方は全員が、総立ちで作業。たいへん和やかで、楽しい講座となりました。



(株)総桐筆筒和光

■避難勧告

7月14日10:30、大木町の全域に、大雨で初の避難勧告がでました。13日～14日、うちの雨量計でも、180mmと計測。風もなく、ただ雨がザーザーと降っている状態でした。

そして、全国ニュースのごとく、14:30 隣町の柳川市(大和町六合)で矢部川の堤防決壊。当社から直線で5KM。それ以外でも川が増水してあふれた地域があり、カミサンの里(柳川市久末)では、床下浸水したそうです。こちらは直線で2KM。

うちの方は、被害はなかったのですが、多方面からご心配の電話やメールをいただきました。ありがとうございました。被害に遭われた方には一日も早い復興を祈念しています

下記の写真は当日、当社屋上から西←→東をパノラマ撮影したものです



■ブラザー DCP-J525N

いままでHPプリンターばかりでしたが、たまたま見つけた大容量代替えインク(¥5,680)が使える、ブラザー DCP-J525N(¥6,295)。純正インクカートリッジは、最初から使わず、最初から大容量代替えインクに。ほんとにガンガン印刷できます。でも、色をどんなに調整しても耐えがたく悪い。

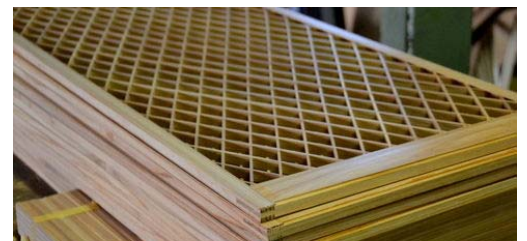


それで、HPで使っていた良質設計の920XLの代替えインクを目詰まり覚悟で入れてみました。一度クリーニングしただけであとは問題なし。色も赤みを上げたら我慢できる程度に。A4カラーで3000枚印刷してインクは、おおかた全部なくなるくらい。

インク補充もとても簡単、セットしたまま、キャップ(黒、黄、青、赤)を開けて、どっと入れるだけ。透明ですから、分かりいい。欠点をしうて言えば、用紙が100枚しか入らないところ(^;)この、”組子ベッド百報”も、このプリンタで出したものです。

■杉の組子

右写真は、組子ベッド(杉黒芯)悠々の組子です。あんばい・こちより、さらに改良を加えています。杉に並々ならぬ情熱を方向けてあるアイケイケイ様が主に販売されています。7月に杉の特性に合わせた大幅なモデルチェンジして発表。当社でもやっと生産が軌道に乗ってきました。ここにきて、ヒットの兆しが多少みえてきたかな?というところです。



本製品は、抗菌作用の高い杉の黒芯を用い、飯糊で作った天然素材接着剤、釘は木釘、塗装は天然柿渋塗料とすべて国産の天然素材を用いました。化学物質過敏症、また、電磁波過敏症の方にもお薦めできるベッドです

・販売価格 ¥358,000(税込/送料別)

(株)総桐箆筒和光

■人柄が繁盛させる

うちの取引先ではないのですが、睡眠考房まついさんと当社に見学にこられたこともある岡本さまがTVに登場。関西だけの放送だったので、まついさんが、DVDを送られてきました。変換して**販売店支援サイトに掲載しました**が、まあ～岡本さんのご夫婦の仲のいいこと。この番組後、大盛況となり、いまでは2ヶ月待ちだそうです。ベッドは組子ベッドにしてもらいたいな～～と、私の希望でした(^;)



■鳥人間コンテストに大川が参戦

専務が模型飛行機作りますので、詳しいのですが、初期の機体はまったくダメで、テスト飛行で見事に墜落。でも、その後機体を改良し、琵琶湖では、距離は伸びなかったものの、滑空してて、お見事だったと思います。来年も参戦すると思います。ご声援よろしく**(こちら販売店支援サイトに動画入れてます)**



組子ベッド販売店支援サイト

組子ベッド販売店支援サイトには動画も掲載しています。この「組子ベッド百報」の過去の配布資料だけでなく、各地のTV局であった販売店様が出演の番組紹介、また、快眠や睡眠に関するTV番組など随時掲載してます。

<http://kumikobed.com/> →販売店支援ページ(限定)

入室パス:iibed

■バリっと、社名シール張替



某ショップを見学した際、外の垂れ幕が薄くさめているのに、そのまま。店内に入っても品揃えも悪いし、レイアウトも悪い。あと数年持つかな？と思ってでてきました。

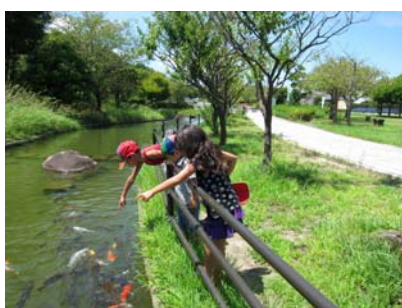
「人の振り見て我が身を正せ」で、うちの工場、社屋外観は、どうかと点検。まあまあで一安心。しかし、車に貼っている社名が、白っぽく、さめてました。こりゃいかんと、即効カッテングプロッターで、クククククって、シール作成し、張り直しました。なんだか新車になったみたい(^^)

■孫達を連れて



カイトしている岱明町の鍋松原海水浴場です。10時頃着。干潮間近で、30分ほどで遊泳禁止の旗まで引いておしまいでした。風がほどよく吹いてたら、カイトのこっちよいところを、孫どもに見せるはずでしたが、風はまったく足りなく残念。片付けて、ここの食堂で昼飯。4人の孫どもに食わせるは、ああだこうだと言って面倒でした。

その後、車で5分ほどにある、金魚の館に。初めていきましたが、芝がとってもきれい。遊具もありました。館内も入りましたが無料。夏休みの思い出になったかな？



■ハンモック



お盆は風がさっぱり吹かず、カイトはできず。ハンモックがあったはずと家の中を探したらラッキーにもすぐに見つかり、それを持ってビーチにGO。

ビーチ側の松林の中は、ほどよい間隔で松が並んで、こっちかな～、あっちかな～で、何度か松を取っ替えひっかえし、太陽の日差しを遮る木陰をチョイスして、セット完了。お決まりのように、一回落ちました(^^)でも、気温35度以上の無風では、木陰でも、さすがに暑かった(^^)

DNA

我が社の遺伝情報であり、会社史であり、備忘録あり、
 自分史あり、ドキュメンタリーでもあります

■アサガオの観察

夏休みも終わって、子供がいる世のおかあさん方もほっとしておられることかと思えます。夏休みの宿題のことで思い出しました。それは、はじめての夏休み。小学一年生の時です。



アサガオの記録を自由研究でやってました。というよりわけ分からずやらされてました。(長男は実験台?)。おふくろがアサガオのスタンプを作ってくれて、毎朝、眠い目を擦りながらアサガオの色を数えて、黄色が一個、赤が5個、青が8個とスタンプを押して行くのです。これが何の役に立つのか、また、どんな意味があるかも分からずに。

夏休みが終わって学校に持って行って、1ヶ月程経った頃と思いますが、学校から、表彰状をもらっちゃいました。両親はとても喜びましたが、私は、やらされていたからです、あんまり感慨はなかった気がします。

■MOON



1969年、人類初の月面着陸に成功した米宇宙船アポロ11号のニール・アームストロング船長が8/25日死去されました。享年82歳。

アポロ11号が月面に降りたとき、リアルタイム中継でみてました。部活は夏の合宿でしたが、この歴史的瞬間をみたくってサボりました。アームストロングが、月面に立ってのあの名台詞には感動しました。



「That's one small step for (a) man, one giant leap for mankind.
 (これは一人の人間にとっては小さな一歩だが、人類にとっては偉大な飛躍である。)」

そのあと、記念レコードがでましたので購入、いまでも私の大切な宝物のひとつになってます。また、月着陸船のプラモも何個か作りましたが、お小遣いがなくなり、紙で作ったりもしました。

月面着陸は、すべてコンピュータオートで行う予定だったそうですが、ドタンバになって着陸地点がずれた為に手で着陸したそうです。訓練されていたとはいえ、最後に機械でなく、人間の手で操縦されたことも、あとで知り、パイロット職人だな~と思った次第。

なお、私のニックネームは"MOON"といます。由来はアポロ11号とは関係ありませんが、潜在意識の中にはあったかも。